

ID No.	3057
研究課題名	ヒト特異的ウイルス感染ヒト化マウスモデルを用いたシングルセルオミクス解析
研究代表者	中野 雄介 (京都大学・特定助教)
研究組織	
受入教員	佐藤 佳 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	小柳 義夫 (京都大学・教授) 三沢 尚子 (京都大学・教務補佐員) ソパー アンドリュー (京都大学・大学院生) 麻生 啓文 (京都大学・大学院生)
研究報告書	
<p>本研究では、申請者が開発した HIV 感染ヒト化マウス実験動物モデルを用い、感染細胞のシングルセルトラスクリプトームデータを取得すること、そしてそれを統合的に解析し、HIV 感染動態の背後にあるヘテロで複雑な生命原理を描出することを目的とした。</p> <p>HIV感染ヒト化マウスのシングルセルRNAシーケンシング解析により、生体内におけるHIV感染細胞の集団が少なくとも9つに分類されること、そしてそれぞれの集団において、HIVに対する感受性が異なることを見出した。今回同定した集団の中には、これまでは見出されていなかった細胞集団も存在していたことから、本研究により、生体内における複雑なウイルス複製・産生の一端を描出することに成功したと言える。本研究成果は、現在学術論文として投稿・査読中である (Aso, Nagaoka, Kawakami et al., Cell Reports, under revision)。</p>	